

私の小宇宙

Sweden

絵・文
深井せつ子

春の到来

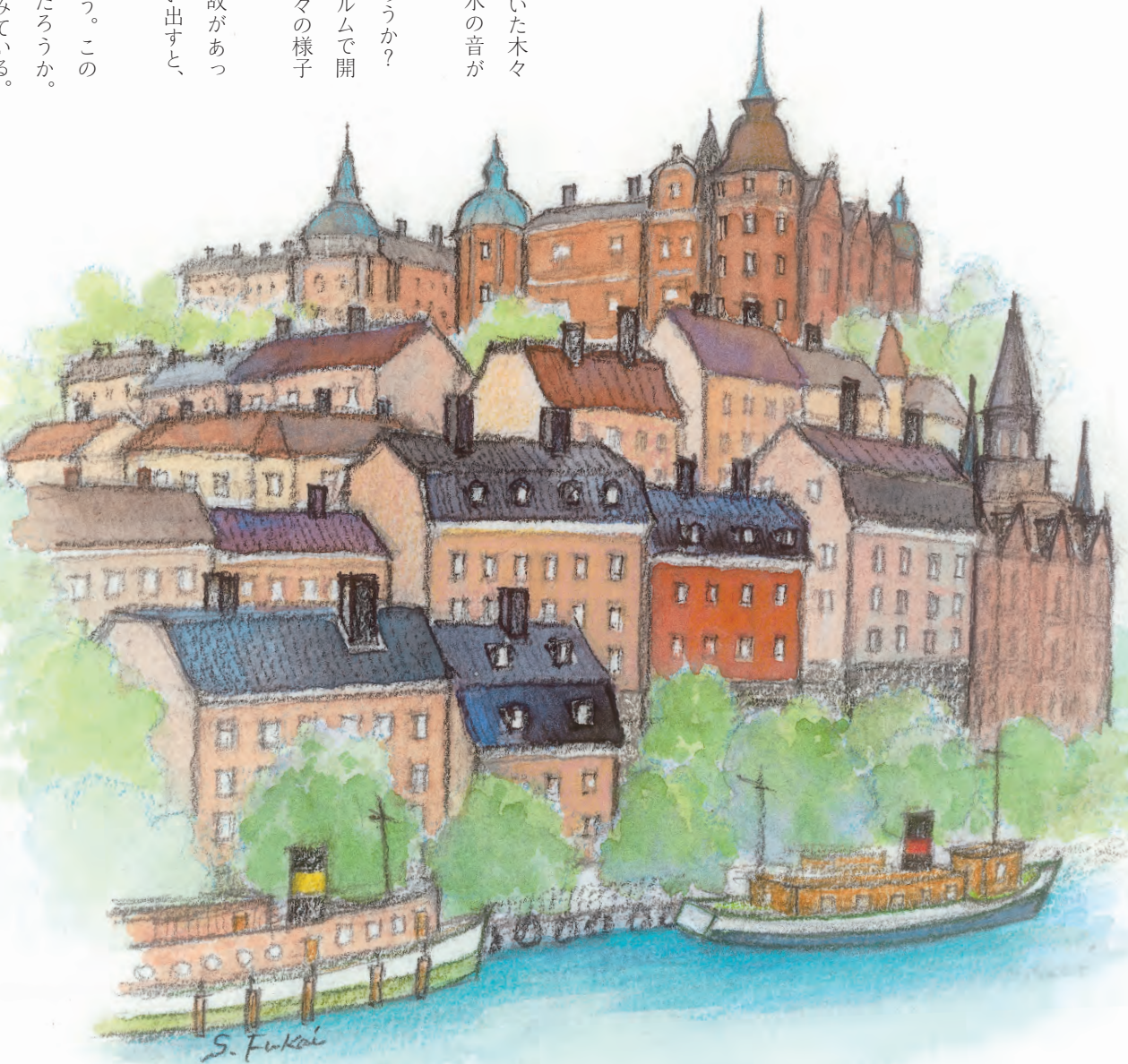
北欧の古都ストックホルムに春がやってきた。乾いた木々は緑のペールを被り、船着き場では船をたたく水の音が聞こえる。

107年前の春もこんな風に訪れてきたのだろうか？

1912年、第5回オリンピックがストックホルムで開催された。日本の年号では明治45年。その時の人々の様子を想像することは私には出来ない。

が、同年に豪華客船タイタニック号沈没事故があった。あの映画に出てくる乗客の衣装、働く人を思い出すと、107年前のこの街の情景が私の中で動き出す。

ガムラスタンのカフェは賑わっていたことだろう。このセーデルマルムの海沿いは散策する家族がいたのだろうか。そんな想いでテレビドラマ「いだてん」*を楽しくみている。



深井せつ子

画家。北欧各国の清涼な風景に魅かれ、北欧行を重ねながら、個展・出版等で作品の発表を続けている。北欧絵本に『イエータ運河を行く』、『風車がまわった!』、『森はみんなの保育園』、『スウェーデンの変身する家具』、他の地域の絵本に『一枚の布をぐるぐるぐる』など（全て福音館書店発行）。

〔ホームページ〕 www.setsukofukai.com

Profile

* NHK 2019年大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺（ばなし）～」

私の小宇宙

Sweden

絵・文
深井せつ子



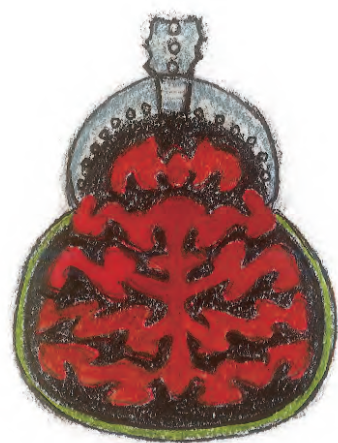
赤はお日さまの色

今年4月、イースター祭りの前にストックホルムを旅してきた。

寒い！凍えるように寒い！！粉雪さえ舞っていた。こういう日々は博物館歩きに限る。ひきびさに「民俗博物館」を隅々まで歩いた。

伝統衣装は、寒さに耐えられるよう、ほとんどが厚手のウール。飼っている羊の毛を刈り、糸を紡いで、染めて、機織りで織りあげ、縫って、刺繍されたもの。幾時代を経ているはずなのに色彩がとても鮮やかだ。織られた模様も華やか。

ことに赤が目飛び込んでくる。誰かが「赤は暖かいお日さまの色」と言った。そう、ここから先は太陽が輝く季節！絵は帽子とポシェット。スカートに金具で掛けるタイプと、ポシェットの紐を腰に巻き付けるタイプがある。

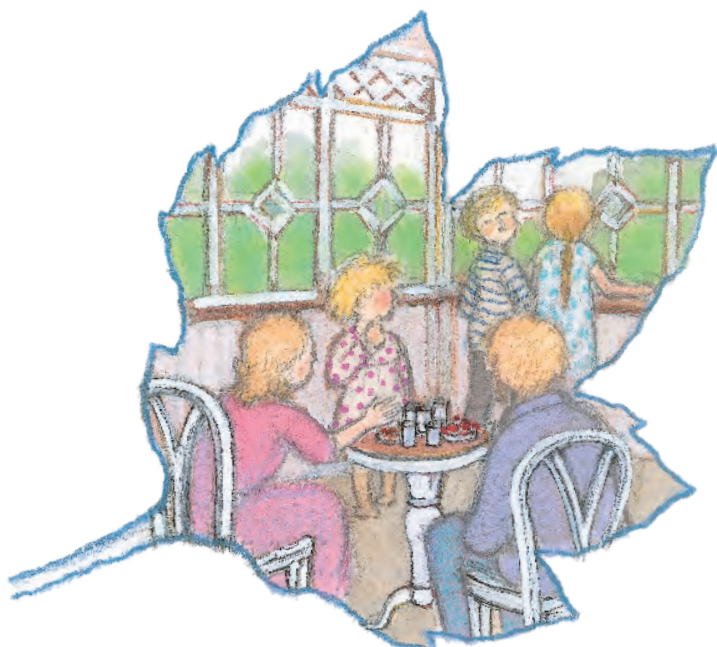


Profile

深井せつ子

画家。北欧各国の清涼な風景に魅かれ、北欧行を重ねながら、個展・出版等で作品の発表を続けている。北欧絵本に『イエータ運河に行く』、『風車がまわった!』、『森はみんなの保育園』、『スウェーデンの変身する家具』、他の地域の絵本に『一枚の布をぐるぐるぐる』など（全て福音館書店発行）。

[ホームページ] www.setsukofukai.com



私の小宇宙

Sweden

絵・文
深井せつ子

幸せの時間の音

夏の終わり、スウェーデンの友人宅を訪ねた。よく晴れた気持ちの良い日だ。

祖父から譲られたという赤い家。伝統民家の玄関に友人夫妻と3人の子どもたちが迎えてくれた。

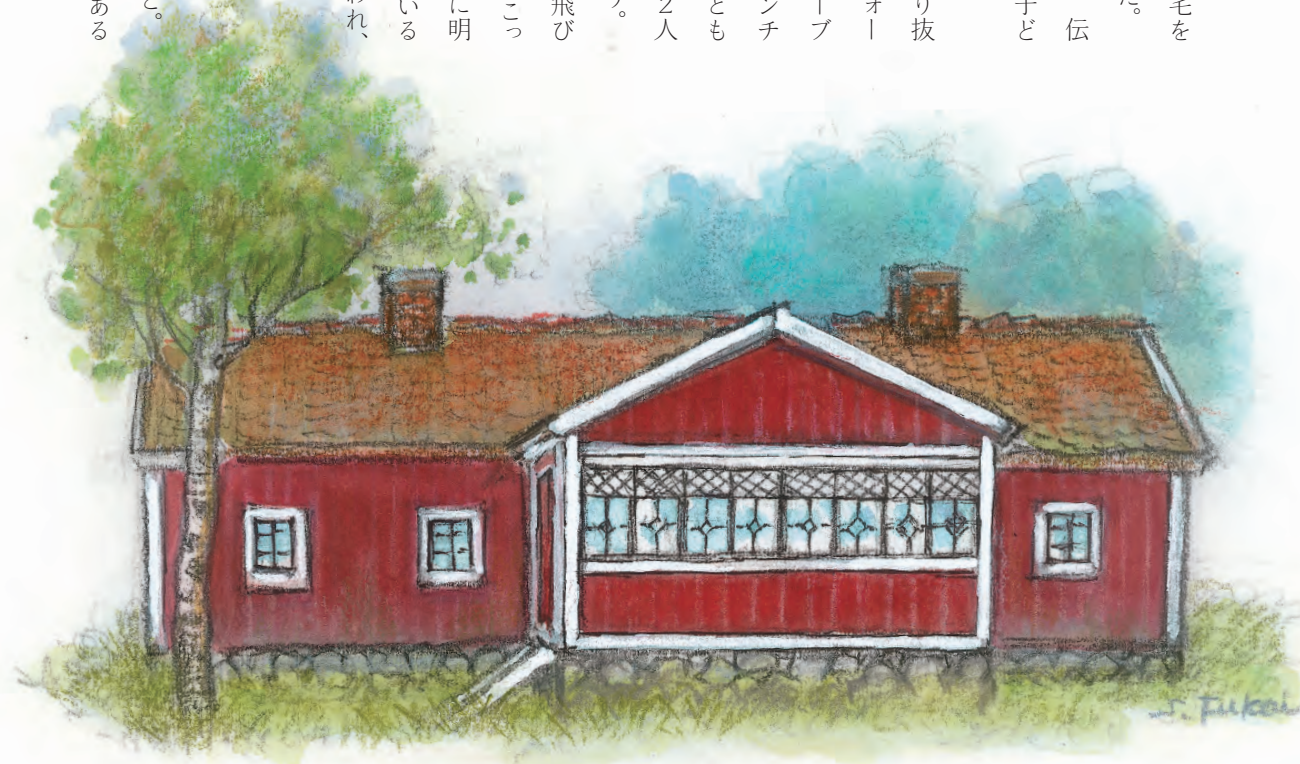
古風な家具が素敵なりビングを通り抜け、真新しいパインの板で全面リフォームされたキッチンに案内された。テーブルも椅子もパインで明るい色彩。ベンチもあり全員一緒にランチ。3人の子どもは賑やかだ。聞けば友人の子どもは2人で、もう1人は近所の子なのだという。

ランチが済むと子どもたちは庭に飛び出して行った。「コーヒーにするから、こっちに」とサンルームに移動。さすがに明るい。広い庭で子どもたちが遊んでいるのが見える。庭の外側は樹木で覆われ、その向こうは森に続いている。

子どもらの声と木々がそよぐ音。

これは「幸せの時間の音」。

何でも無いけど、とても大切なこと。全ての子どもたちがこうして愛のある日々を送れますように。



Profile

深井せつ子

画家。北欧各国の清涼な風景に魅かれ、北欧行を重ねながら、個展・出版等で作品の発表を続けている。北欧絵本に『イエータ運河に行く』、『風車がまわった!』、『森はみんなの保育園』、『スウェーデンの変身する家具』、他の地域の絵本に『一枚の布をぐるぐるぐる』など（全て福音館書店発行）。

[ホームページ] www.setsukofukai.com



私の小宇宙

Sweden

絵・文
深井せつ子

どんなに高層ビルが建っても

スウェーデンの都市も、このところ年々
変容している。ストックホルムにも新しいビ
ルが増えてきている。最も驚くのは南部最
大の都市マルメ。鉄道駅周辺は新築ビル群
が集中し、方向が分からなくなった。馴染
んだ風景の海、川、城の姿が見えないからだ。
それでも、旧市街の広場に着くと、そこ
は元のまま。中世からの姿を見せてくれる。
南端の小都市イースタッドも昔の姿を保っ
ている。ここはBBCのテレビ刑事ドラマ
の舞台となり一躍有名になった。それでも、
ゆったりした海岸避暑地の雰囲気は変わっ
ていない。

高層ビルが増えても有名になっても、何
が大事か、それを守る人々の姿勢に改めて
心を動かされる。



Profile

深井せつ子

画家。北欧各国の清涼な風景に魅かれ、北欧行を重ねながら、個展・出版等で作品の発表を続けている。北欧絵本に『イエータ運河を行く』、『風車がまわった!』、『森はみんなの保育園』、『スウェーデンの変身する家具』、他の地域の絵本に『一枚の布をぐるぐるぐる』など（全て福音館書店発行）。

〔ホームページ〕 www.setsukofukai.com

吉祥寺北欧WALK 特別記念 /

「深井せつ子 作品展」

【会期】2019年12月1日(日)~12月30日(月)
10:00~21:00

【場所】コピス吉祥寺 4F アートギャラリー

※スウェーデンの作家ヘニング・マンケルが描く警察小説『クルト・ヴァランダー・シリーズ』